IP VOD Box

セットアップガイド

PRD-MA100-JE1

かならず本書を読んでから正しく安全に使用してください。
また、本書は読んだあとも大切に保管しておいてください。

内容品の確認

- □本体 ×1
- □リモコン ×1
- □スタンド ×1
- □単4形乾電池 ×2
- □AC アダプター ×1（電源ケーブル）
- ✓セットアップガイド（本書）×1

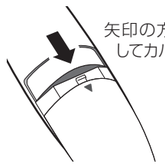
HDMI ケーブル、LAN ケーブル、IR ブラスターは付属していません。別途準備してください。

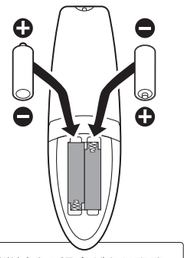
Copyright © 2013 PIXELA CORPORATION

205000235-2

接続する

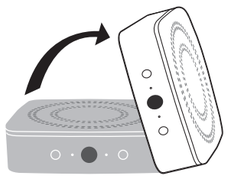
1 リモコンに電池を入れます。



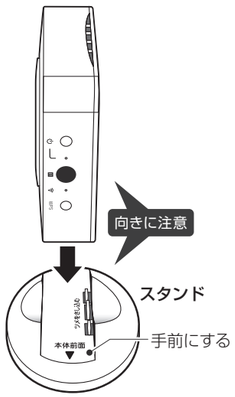


付属の電池は動作確認用のため、通常より早く消耗する場合があります。
交換するときは単4形（1.5V）の電池を使用してください。
※電池の交換時期になると、ボタンを押したときに 電源 が5回連続で赤点滅します。

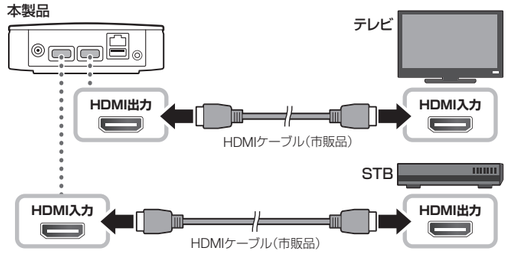
2 お好みでスタンドを取り付けます。



前面を手前にしてから、本体の右側が下になるように縦向きにします。

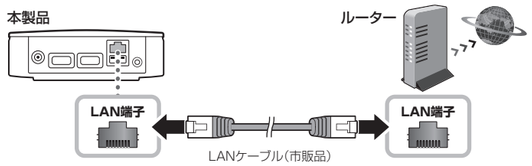


3 本製品とSTB、テレビを接続します。



4 ルーターと接続します。

インターネットに接続できることを確認しておいてください。

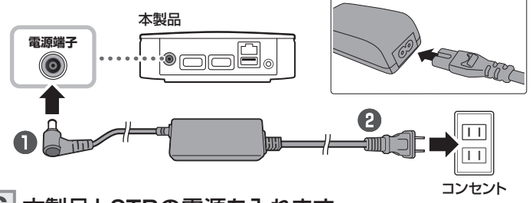


無線ルーター（無線対応モデム）をお使いの場合

お使いのルーターが無線LAN対応であれば、LANケーブルの接続は不要です。次の手順に進んでください。

5 付属のACアダプターを接続します。

本体側、コンセント側の順番に接続します。
※AC アダプターをコンセントに接続してから、本体が待機状態になるまで約 30 秒かかります。



6 本製品とSTBの電源を入れます。

※AC アダプターを接続した直後は本体が起動の準備をしているため操作できません。本体の電源ランプが赤点灯になっていることを確認してから電源を入れてください。

7 テレビの電源を入れて、本製品を接続したHDMIの入力に切り換えます。

本製品の初回設定画面が表示されます。画面の指示にしたがって進んでください。

無線接続する場合

ご利用の環境に応じて接続方法を選んでください。また、無線ルーターは本製品の近くに設置して電波を受信しやすい状態にしてください。

WPS	お使いの無線ルーターの WPSボタン（機器によって名称が異なります）を利用して接続します。
接続先検索	周囲の利用可能なアクセスポイントを検索します。接続するアクセスポイントを選んで「認証キー」を入力してください。
手動設定	手動でお使いの無線ルーターの情報（SSID、認証キーなど）を入力します。

※SSID と認証キーは無線ルーター（無線対応モデム）本体に英数字で記載されています。
※アクセスポイントが表示されない／接続できない場合は本製品が対応していない無線ルーターをお使いか、無線ルーターの設定に問題があるおそれがあります。くわしくはお使いの機器のメーカーにお問い合わせください。
※WPS とは、Wi-Fi Protected Setup の略です。

WPSボタンでWi-Fi設定する

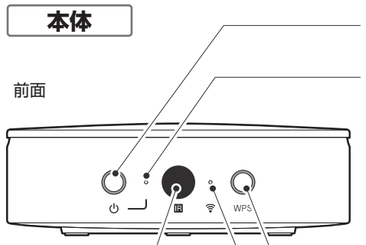
お使いの無線ルーターがWPSに対応していれば、ルーター情報の入力の手間を省いて、簡単にインターネット接続することができます。

①本体のWPSボタンを約5秒押し続けます。
Wi-Fiランプが赤く点滅しはじめたらボタンから指を離してください。
②お使いのルーターをWPS動作状態にします。
くわしくはお使いの機器の取扱説明書を参照してください。
③本体のWi-Fiランプが緑点灯に切り換わったら設定は完了です。

各部の名称と機能

本体

前面



電源ボタン
電源を入／切します。

電源ランプ
本体の状態を示します。

緑	動作中
橙	起動の準備中
赤（点灯）	待機中
（点滅）	システムエラー
消灯	通電していません。

※橙点灯の間は本体を操作できません。

WPS ボタン
本体を WPS 動作状態にします。

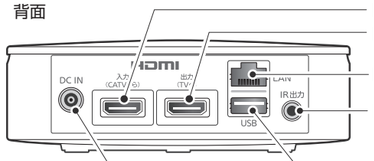
IR受光部
リモコンの信号を受信します。
（赤外線利用時のみ）

受光範囲		
	正面	約 7m
	上下 30°	約 3m
	左右 30°	約 3m

Wi-Fi ランプ
本体の Wi-Fi 接続状態を示します。

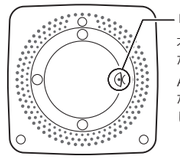
緑	接続中
赤（点滅）	WPS 動作中
消灯	接続していません。

背面



HDMI 入力端子
HDMI 出力端子
LAN 端子 10BASE-T/100BASE-TX
IR 出力端子
電源端子
拡張用の USB です。現時点では使用できません。

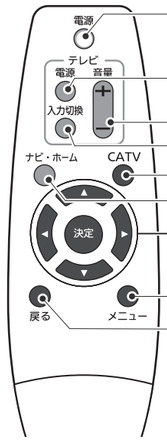
底面



リセットボタン
本体を再起動します。再起動は電源ボタンが動作しない場合などに行います。
AC アダプターが接続されている状態で、つまようじなどを使って 5 秒以上押し、電源ランプが一度消灯したらリセット完了です。
※縫い針などの先端が鋭利で通電性のあるものを使ったり、強く押したりしないでください。

リモコン

本製品のリモコンは赤外線方式と無線方式の両方に対応しています。無線リモコンとして利用する場合は、右記の「ペアリング」の設定を行ってください。



- 本製品の電源を入 / 切します。
  ※リモコンボタンを押すたびに赤点灯します。連続で5回赤点滅するときは新しい電池に交換してください。
- テレビの電源を入 / 切します。
- 音量を調節します。
- 入力を切り換えます。
  （このボタンを使うには、右記の「テレビを操作する」の設定を行ってください。）
- STB 画面に切り換えます。（STB 接続時のみ）
- ナビ・ホーム画面を表示します。
- 画面上で選択・実行を行います。
- 機器設定メニュー画面を表示します。
- 1 つ前の画面に戻ります。
  ※表示中の画面によっては使用できません。

ペアリング（無線リモコンとして利用）

赤外線の受光範囲に関係なくリモコンを利用することができます。
テレビに本製品の画面を表示してから下記の操作を行ってください。

1 メニュー を押してから、[リモコンペアリング]-[ペアリング]を選びます。

2 **同時に3秒以上押し続けます。**
ペアリングが開始されたら 電源 が赤点滅します。リモコンから指を離して、ペアリングが完了するまでお待ちください。（最長で約30秒）

ペアリング解除（赤外線リモコンとして利用）

周囲の電波の影響などで無線リモコンの反応が悪いときは、ペアリングを解除して赤外線で利用してください。

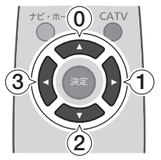
CATV と 戻る を同時に3秒以上押し続けます。
ペアリングが解除されたら、電源 が4回赤点滅します。
※赤点滅が 1 回の場合は、すでにペアリングが解除されています。

テレビを操作する

テレビを操作するには、事前に以下の設定が必要です。
※無線リモコンとして利用している場合、メニューから設定することもできます。

1 **同時に3秒以上押し続けます。**
電源 が2回赤点滅したらリモコンから指を離してください。

2 方向ボタンでお使いのテレビメーカーの番号を入力します。



パナソニック	000	日立	012
シャープ 1	001	三洋	013
シャープ 2	002	ソニー	020
三菱電機	003	オリオン	120
東芝	010	ピクセラ	122

上記のメーカーのテレビでのみ設定できます。
ただし、機種によっては使用できなかったり、一部の機能を操作できないことがあります。

例：お使いのテレビがピクセラ（122）の場合
ボタンを押すたびに 電源 が点灯することを確認しながら入力してください。

3 決定 を押すと、電源 が2回赤点滅します。

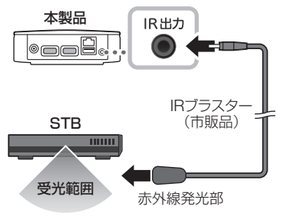
4 **電源ボタンを押して、テレビの電源を入／切できれば設定は完了です。**

STBを操作する

本製品に付属のリモコンで、STB画面を操作することもできます。

1 IRブラスター（市販品）を本製品のIR出力端子に接続します。

2 IRブラスターの赤外線発光部を、STBのIR受光部の受光範囲内に設置します。
くわしい設置方法は IR ブラスターの取扱説明書を参照してください。



3 本製品の画面を表示します。

4 メニュー **を押してから、[STBリモコン選択] を選びます。**

5 お使いのSTBのメーカーを選びます。
CATV を押してから、付属のリモコンでSTB画面を操作できたら設定は完了です。
※表示中の画面によっては使用できないボタンがあります。

困ったとき

Q. 映像が表示されない

■ テレビおよび本製品の電源は入っていますか?
■ テレビの入力は、本製品を接続したHDMIの入力に切り換えていますか?
■ テレビと本製品、本製品とSTBのHDMIケーブルの接続に問題はありませんか?

Q. 映像が途切れる

■ インターネットの通信状態に問題があります。回線が混雑している可能性があるため、時間をおいてから再度接続してください。それでも途切れるときは、ご契約のケーブル事業者にお問い合わせください。

Q. リモコンが反応しない

■ リモコンの電池が正しくセットされていますか?
■ リモコンの電池が消耗すると反応しない場合があります。電池を交換してみてください。
■ 無線リモコンでお使いの場合、周囲の電波の影響などで通信状態が良好ではないことが考えられます。裏面の「ペアリング解除（赤外線リモコンとして利用）」を行ってから、リモコンを本体に向けて操作してください。
■ 赤外線リモコンでお使いの場合、赤外線発信部分がリモコンの背面にあるため、リモコンを下に向けすぎると反応しない場合があります。少し上に向けて操作してください。
■ IRブラスター（市販品）をお使いの場合、接続および設置が正しいことを確認してください。

Q. 無線LAN接続ができない

■ 無線ルーターから離れすぎていると、接続に失敗することがあります。本製品は無線ルーターが利用できる範囲内に設置してください。
■ 無線ルーターのSSIDと認証キーの入力に誤りはありませんか？確認のため、もう一度入力しなおしてください。
■ 無線ルーターの設定によっては、接続できない場合があります。くわしい設定方法については無線ルーターの取扱説明書を参照してください。

Q. サービスにログインできない

■ 契約者IDやパスワードに誤りがあるか、契約期限が切れているなどの問題が考えられます。ご契約のケーブル事業者へお問い合わせください。

製品仕様

外形寸法 ※突起部除く	横置き：約 122 mm (W) × 122 mm (D) × 38.5 mm (H) 縦置き：約 85 mm (W) × 122 mm (D) × 132 mm (H) ※スタンド含む
質量 ※スタンド含む	約 255 g
使用電源	本体：DC 12 V AC アダプター：AC100V 50Hz/60Hz
消費電力	最大 12.5W
使用温度範囲	温度：0℃～ 40℃ 湿度：10 ～ 90% RH（結露なきこと）
接続端子	電源端子（DC 入力）、HDMI 端子（入力／出力）、LAN 端子、USB（拡張用）、IR 出力端子
通信	有線 LAN：Ethernet（10BASE-T/100BASE-TX） 無線 LAN：IEEE 802.11a/b/g/n
周波数帯	2.4GHz 帯 ／ 5.2GHz 帯（W52 のみ）
IR受光部受光角度	上下 30° 左右 30°

- 本製品は技術基準適合証明を受けた特定無線装置を内蔵しています。
- この装置は、クラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。本書に従って正しい取り扱いをしてください。（VCCI－B）
- 仕様および外観は、性能向上やその他の理由で予告なく変更される場合があります。
- 本製品にはGPL・LGPLの適用ソフトウェアを使用しています。詳細については[http://www.pixela.co.jp/gpl/] を参照してください。

安全上のご注意

本書では、本製品を安全にお使いいただくために、かならず守っていただきたい事項を以下の表示と図記号で説明しています。

■ 警告表示
誤った取り扱いによって生じる危害や損害の程度を以下の表示で分類しています。

⚠警告	死亡または重症を負うことや、物的損害の発生が想定されることを示します。
⚠注意	障害を負うことや、物的損害の発生が想定されることを示します。

■ 図記号
守っていただく内容の種類を示しています。

：**禁止事項（してはいけないこと）**を示します。
：**順守事項（かならずすること）**を示します。

⚠警告

本製品の分解・改造は絶対にしない。
火災や故障および感電やけがの原因になるおそれがあります。また、無線機器を分解して使用すると、法律で罰せられることがあります。

以下のような場所には設置および保管しない。
- 直射日光が当たったり高温になったりする場所
- 熱器具の近くなどで高温になる場所
- 風通しの悪い場所
- 水や湯気などがかかる場所
- ほこりや、湿気、油煙の多い場所
- 可燃性、爆発性、引火性のガスがある場所
- 粉じんが発生する場所
- 振動や衝撃のある場所
- 傾斜しているなどで不安定な場所
- 船舶や自動車などの乗り物の中
- 小さなお子様の手が届く場所

火災や故障、感電および転倒や落下などによるけがの原因になるおそれがあります。

かならず家庭用コンセント(100V)で使用する。
たこ足配線などコンセントや配線器具の定格を超える使い方をすると、発熱して火災の原因になるおそれがあります。

何か異常が起こったときに、すぐにACアダプターを抜けるように設置する。
異常が発生したときに通電し続けると、火災や故障および感電の原因になるおそれがあります。

以下の場合は、本体に触れずに速やかにACアダプターをコンセントから抜く。
- 異音、異臭、煙が出ているとき
- 本体および AC アダプターが故障、破損しているとき
- 内部に液体や異物が入ったとき
- AC アダプターが異常に熱いとき

そのまま使用すると、火災および感電の原因になるおそれがあります。AC アダプターを抜くときは、やけどをしないように注意してください。

本製品を濡らしたり、濡れた手で触れたりしない。
故障および感電の原因になるおそれがあります。

故障や事故によるけがを防ぐため、以下のことを守る。
- 内部に指や物を入れない
- 熱器具に近づけたり、破損させたりしない
- 水につけたり、濡らしたりしない
- 重い物をのせたり、強い衝撃を与えたりしない
- 上に物を被せたりして本体の通風孔をふさがない

火災や故障および感電やけがの原因になるおそれがあります。

他者の安全を守るため、以下のような場所では使用しない。
- 心臓ペースメーカーや補聴器の近く
- 病院内や医療用電子機器がある場所
- 無線機器の使用が禁止されている場所
- 火災報知機や自動ドアなど自動制御機器の近く
- 高精度の制御や微弱な信号を扱う機器の近く

本製品の電波の影響を受け、誤作動による事故の原因になるおそれがあります。

ACアダプターの取り扱いは以下の事項を守る。
- 本製品に付属の AC アダプターを使用する
- AC アダプターはコンセントに確実にさし込む
- 抜くときは、かならず AC アダプターのプラグ部分を持つ
- プラグ部分のほこりや汚れは定期的に掃除する

誤った取り扱いをすると、火災や故障および感電の原因になるおそれがあります。

ACアダプターを傷つけたり加工したりしない（無理に引っ張る・曲げる・ねじる、重い物をのせる、ドアなどで挟むなど）。また、傷んだ場合は使用しない。
火災や故障および感電の原因になるおそれがあります。

使用中および通電中は本体やACアダプターに長時間触れない。
温度が上昇して、やけどの原因になるおそれがあります。

雷鳴が聞こえたときは、すぐに使用を中止し、本製品に触れない。
感電の原因になるおそれがあります。

⚠注意

本製品のACアダプターと電源ケーブルを別の用途に使用しない。また、別の製品のAC アダプターを本製品に使用しない。
火災や故障および感電の原因になるおそれがあります。

本製品を移動するときは、接続している配線をすべてはずす。また、輸送中にぶつけたり落としたりしないように注意する。
転倒や落下により故障やけがの原因になったり、ケーブルの端子が破損したりするおそれがあります。

使用上のご注意

本書について

- 本書では「IP VOD Box」を「本製品」と表記しています。
- 本書で使用している画像は、実際とは異なる場合があります。
- 本書の内容の一部、およびすべてを無断で転載することは禁じられています。

本製品について

- 本体に貼ってあるシールは、はがさないでください。
- 有料コンテンツを視聴するにはケーブル事業者との契約が必要な場合があります。契約については、ケーブル事業者へお問い合わせください。
- 本体とリモコンは 2.4GHz 帯の周波数を使用しているため、電子レンジ等と電波干渉を起こす場合があります。
- 本製品は日本国内での使用を前提に設計されています。故障や感電などの事故を引き起こすおそれがありますので海外では使用しないでください。
- 本製品は一般家庭用に設計・製造されています。人命に関わったり、高度な信頼性が必要な設備や機器などへの組み込みや制御などへの使用は意図されていません。
- 本製品および本製品のパッケージ（緩衝材を含む）を廃棄する場合は、お住まいの地方自治体の条例や規則にしたがってください。

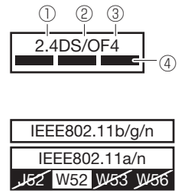
商標

- "Wi-Fi"、"Wi-Fi Protected Setup" は Wi-Fi Alliance の商標または登録商標です。
- "HDMI"、"HDMI" ロゴ、High-Definition Multimedia Interface は、HDMI Licensing LLC の商標または登録商標です。
- ドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。Dolby、ドルビー及びダブル D 記号はドルビーラボラトリーズの商標です。
- その他の本書に記載している社名・製品名・サービス名は、各社の商標、登録商標、および製品です。一部申請中のものも含みます。
- 本書では (R) および TM などの商標マークは省略させていただいております。

電波について

- 本製品は 2.4GHz 帯および 5.2GHz 帯の電波を使用しています。本製品の使用周波数帯では、同じ周波数の無線機器や、電子レンジなどの電子機器、工場、製造ラインなどで使用されている移動体識別用の構内無線局および特定小電力無線局が運用されています。
- 本製品を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局および特定小電力無線局が運用されていないことを確認してください。
- 万一、本製品から移動体識別用の構内無線局に対して電波干渉が発生した場合、速やかに本製品の使用を中止してください。
- 本製品から移動体識別用の特定小電力無線局に対して電波干渉が発生した場合など、何かお困りのときは、ご契約のケーブル事業者へお問い合わせください。
- 本製品と通信機器との通信距離は、使用環境（建物の構造・材質・障害物、設置状況、電波状況など）により異なります。また、映像にノイズが入ったり、通信できなくなったりする可能性があります。
- IEEE802.11a/n（W52）は 5.2GHz 帯の周波数を使用しています。
- IEEE802.11a/n（W52）の電波を屋外で使用することは電波法で禁止されています。屋内で使用してください。

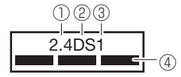
■ 無線 LAN 機能



①使用周波数帯域が2.4GHzであることを表します。
②変調方式がDS-SS方式/OFDM方式であることを表します。
③想定干渉距離が40m以下であることを表します。
④全帯域を使用し、かつ「構内無線局帯域」を回避できることを表します。

W52（5.2GHz帯36、40、44、48ch）が利用できます。

■ 無線リモコン機能



①使用周波数帯域が2.4GHzであることを表します。
②変調方式がDS-SS方式であることを表します。
③想定干渉距離が10m以下であることを表します。
④全帯域を使用し、かつ「構内無線局帯域」を回避できることを表します。